

## 第 6 回 資源循環型施設建設候補地選定委員会 会議録

日時：平成 17 年 10 月 3 日（火）

午後 1 時 30 分～ 2 時 40 分

場所：清浄園 2 階 会議室

### 1 開 会

### 2 委員長あいさつ

### 3 報告事項

第 5 回委員会の会議録について

### 4 議題

( 1 ) 建設除外地域の確認・・・・・・・・・・(資料 1 )

( 2 ) 候補エリアの選定方針の検討・・・・・・・・・・(資料 2 )

( 3 ) 候補エリアの抽出・・・・・・・・・・(別 図)

( 4 ) 候補エリアの評価、絞込み・・・・・・・・・・(資料 3 )

### 5 その他

次回委員会 10 月下旬から 11 月上旬

### 6 閉 会

出席委員（15人）

栗田たか子	委員
宮原 則子	委員
上沢 忠人	委員
両角 秀	委員
若林 政夫	委員
金井 善男	委員
樋口 勲	委員
小山 敏子	委員
木口 憲爾	委員
表 秀孝	委員
川上 清	委員
外山 愷	委員
南波 清吾	委員
柳澤 旨賢	委員
片桐 久	委員

欠席委員 なし

出席者 事務局（11人）

社団法人 全国都市清掃会議	技術部長	栗原 英隆
上田市役所 廃棄物対策課	課長	田中 行房
東御市役所 市民課	課長	大村 興敬
丸子町役場 生活課	課長	新井 忠雄
真田町役場 観光商工課	課長補佐兼係長	大久保晴男
武石村役場 建設環境課	課長	掛川 兼司
青木村役場 住民福祉課	課長	中澤知賀雄
長和町役場 町民課	課長	小宮山正幸
上田地域広域連合事務局	事務局長	市村 良夫
上田地域広域連合事務局	ごみ処理広域化推進室 室長	宮澤 俊文
上田地域広域連合事務局	ごみ処理広域化推進室 主任	塩入 学

出席者 コンサルタント（3人）

国際航業株式会社 公共ビジネス事業本部 環境統括部		
環境施設部	課長	尾葉石 優
環境施設部	主任技師	井土 將博
環境施設部	主任技師	荻山 徹

開会（ 1 時 3 0 分 ）

1 開会

（事務局）

2 委員長あいさつ

（委員長）

3 報告事項

（事務局）

第 5 回会議録の確認について

（各委員）

特に変更等の意見なし

（事務局）

長門町と和田村が 10 月 1 日に合併して長和町となり、両角委員さん、樋口委員さんに引き続き委員をお願いしたい。また、事務局として、長和町町民課の小宮山課長が新たに加えさせていただくことを説明及び自己紹介。

4 議題

（ 1 ）建設除外地域の確認

（事務局）

資料 1 ページ （ 1 ）建設除外地域の確認について資料 1 に基づいて説明する。

（委員長）

前回までの確認について御意見があればお願いしたい。

（各委員）

特に質疑なし。

（ 2 ）候補エリアの選定方針の検討

（事務局）

資料 2 ページ （ 2 ）候補エリアの選定方針の検討について資料 2 に基づいて説明する。

（委員長）

（ 1 ）は第 1 次選定、（ 2 ）は第 2 次選定以降と考えていただきたい。当面、エリアの選定方針はこれでよろしいか。

（各委員）

異議なし。

( 3 ) 候補エリアの抽出

( 事務局 )

資料 3 ページ ( 3 ) 候補エリアの抽出について別図に基づいて説明する。

( 委員長 )

候補エリアの分け方について御意見があればお願いしたい。

( 委員 )

エリアの区分の分け方として字別にいくつか合わせたエリアとしているので、この区分けで良いのではないか。

( 委員長 )

とりあえずこのエリア区分でよろしいか。エリアの境界付近に候補地があるとすれば、現地へ出向いて検討することにしたい。

( 各委員 )

異議なし。

( 事務局 )

エリア内の大字については、資料 6 ページの収集エリア図を参考にさせていただきたい。

( 4 ) 候補エリアの評価、絞込み

( 事務局 )

資料 4 ページから 6 ページまで ( 4 ) 候補エリアの評価、絞込みについて資料 3 に基づいて説明する。

( 委員長 )

資料 4 ページの選定方針に基づくエリアの評価表についてはよろしいか。

( 各委員 )

異議なし。

( 委員長 )

今回の第 1 次選定でいくつかエリアを除外した方が良いのではないかとと思われる。

事務局から説明のとおり省エネの視点で のエリア、省エネも含めて が 3 個あるエリアについては、除外した方が良いのではないか。

除外エリアとして、エリア 1、6、13、15、19、20、21 の 7 個としたい。

このことについて、御意見をいただきたい。

(委員)

資料5ページの評価表の省エネの評価項目の だけを残し、 と は除外としたらどうか。ただし、資料4ページの評価表を 3点、 2点、 1点として数値化するとエリア7の点数が15点以上となるため、第1次選定としては、エリア7、8、9、10、11、12、14、17、18の9個のエリアは残したらどうか。

(委員長)

今の御意見についてはいかがですか。

(委員)

候補エリアの絞込みは、第1次選定の6つの評価項目の中で、どの項目に重み付けを行うのか、必要であると思われる。

(委員)

現時点では、事務局の案で良いのではないか。

(委員長)

現時点では、事務局から説明のとおり除外エリアとして、エリア1、6、13、15、19、20、21の7個としたい。

(各委員)

異議なし。

(委員長)

残りの14個のエリアをさらに評価していくが、第2次選定以降でどの評価項目に重み付けを行うか。また、エリアの選定方針の(2)の項目をどのように評価していくか。

(委員)

廃棄物関連施設が意外と多く分布されている。公共と民間をどう区別するのか。どのエリアにも多くの施設が点在しているので評価することは難しいと考えられる。

(委員長)

エリアの点の数だけで評価して良いのか問題はあると思われる。

(委員)

二次選定の項目として廃棄物処理施設が集中しないことが示されているが、現状ではエリアにより広さが異なるため施設数によって集中するとは言い難い。また、施設が集中するのはその地域の環境が立地条件に合っているからとも考えられるので、候補エリアの選定要因とするには無理がある。

(委員長)

エリアの評価要因としては難しいと考えられる。廃棄物処理施設等分布図については、一つの情報としておきたい。

第2次選定以降の項目を付け加えて、次回、さらに検討することによろしいか。

(各委員)

異議なし。

(委員長)

次回もしくは次々回にエリアの選定を終了し、候補地の抽出をしたいので、委員の皆さんの御意見をいただかないと候補地の選定評価が出来ないので、よろしくお願ひしたい。

## 5 その他

(事務局)

次回委員会について10月下旬から11月上旬に開催したいと思います。

9月24日の週間上田に掲載された資料について、この資源循環型施設建設候補地選定委員会の開催経過、焼却ごみ量の推移が減少傾向であること、事業系資源紙ごみの資源化の取り組みについて説明。

12月12日にごみ問題についてボランティア活動しているエコサポート21が設立5周年記念ということで、上田地域広域連合と共催で講演会を開催したいと思います。フリーパーソナリティーの武田徹氏の講演とこの委員会の経過報告を表委員長からお願いしたいと考えております。

(委員長)

本日はこれで終了としたい。

## 6 閉会

(事務局)

閉会(2時40分)